

「ラブライブ！サンシャイン!!」に関する商店主の意識アンケート2017

【問11】自由記述（沼津をより活性化させるためのアイデア・意見、その他の記述） 順不同

TV放映を見ていても、北口駅前とリコー通り位ではラブライブ！サンシャイン!!の舞台とは言えないので、まちあるきスタンプやグッズの販売展示は私としては違和感を感じる。

アニメだけでなく、個々の店のクオリティのベースアップが必要。又、時々行われている市内でのイベント等に内部の人間だけではなく、外部の人々に広く知ってもらう努力が必要。その為にもっと宣伝広告にお金や力を使い、沼津をPRしていく事が重要ではないのか。民間、行政の強い結びつきが今後問われていく事になるはず。

あまり思わない

大型店を少なくする事、高架を早く着工すること

香貫山にリフトで行けたら良いと思う。(四国の松山城みたいに)

ゴルフ用のカート専用でも良いと思う。発端丈山も整備すれば富士山の絶景が見られる。愛鷹山に行けるロープウェイがあっても良い(SAからでも良い)興国寺城跡を整備して浮島に広大な湿地公園を整備してはどうか。駿河湾を利用して、1年中大きな釣り大会をする。岩崎恭子、小池礼三、長沢二郎の3人のメダリストを称えて記念プールを作る。各個人が活性化するための小さな手を考えていくことが大切です。衰退している事をもっとすることで、何が出来るか考えていく。

企業を誘致し雇用を確保し子育てに優しい街、市の財政を回復

具体的には商店街でも年間通してイベントをやり、そこそこ人気も出てます。が、いろいろ仕掛けてるのにPRが下手！とよく言われます。まずは大黒柱作りが必要な気がしております。

高架化を推進し、南北一体となった街づくりを進める。大学の誘致、交流人口を増やすための政策(魚市場、ラブライブ、よさこい、夏祭り等) 民間レベルでの駅前再開発&行政主導のコンパクトシティ推進(駅を中心とした)

これから商店街も今まで通りの物販や飲食の提供だけでなく、「ラブライブ！サンシャイン!!」のように人々の趣味の発表や交流の場として活性化していく必要があると感じています。

自然豊かな町であるので、それを生かした町作りをしてもらいたい。

修繕の経費をペイできない商店街は、むしろ景観を活かし、「昭和レトロ」をコンセプトにするなど、「商店街ぐるみ」の統一性、整合性を持たせた街づくりが、今後不可避になっていくと思われま。

商工会、商店街は利害関係と既得権の塊 沼津市に対して中立的に商工業を成長させる組織が必要、沼津の夜は悪くないから「ナイトメイヤー」を誰かやって

商店街が多すぎる。街全体の街並がそろっていない。沼津の街、市全体が1つになれば何でも出来ると思います。

商店街に、小中高校生などが来やすい、来たくなる場所

があるといいなと思います。子ども食堂のようなものとか、遊べるところとか。

商店街の人以外が主催する、商店街を会場にしたイベント。ここ最近増えていますが、多くの人が商店街を舞台として活躍して欲しい。商店街としても協力します。

西部浜松、中部静岡、東部沼津という東部の中心都市としての役割を今一度考えるべきと思う。沼津も城下町であり、その歴史の発掘、広告をもう少し、市民、市外周辺の人達に知らしめる方策が必要なのではないかと思う。町の名前にはその名残も数多くあり、個人的にも興味がある。あと千本浜にもっと家族で楽しめる場所を、街の中心に近い所で作るべきだと思う。全てが砂浜になれば面白くなる。

そもそも商売ありきのアニメコラボで不愉快 ファンを食い物にして恥ずかしくないのか

それぞれの多様性を生かしながら、まずひとつひとつの意識をひとつにして動き出して欲しい

沼津上土に生まれ育っているのので、沼津を昔から大切に思っています。40年以上前は上土商店街は大変な賑わいでしたが時代が変わり、大型店舗が沢山出来、ドーナツ現象になり商店街は衰退してしまいました。**今ラブライブの舞台となり全国から若者が来るので、心暖まる対応を常に心がけ、風光明媚な沼津を堪能して、沼津を好きになってほしいです。**誠意ある信頼と出会いが開運のカギと考えます。

沼津駅高架事業にこだわらず、南北自由通路を早期に実現してほしい。

沼津駅を中心にする。**大学や専門学校など高校を卒業した後の行先を沼津にするようにする。沼津駅の近くに大きな駐車場を作る。**避難所になったり中心に集まりやすくする。何より高層化！

沼津市全体をもっと見つめて、流れを感じられる取り組みをして欲しい。港だけ・・・ラブライブだけ・・・ではなく、駅からのつながり・・・のような街づくりを。

沼津市役所の方がやる気があるのかわからない。沼津にディズニーのパレードの声がかかっても、結局三島にいってしまった。木にイルミネーションを付けるにも木が傷むということをやったらしい。せっかくやるんだったら、とことんやる方がいい。宣伝、広告なんか少ないと思う。色々なイベントをやるのに、知らない人が多すぎる。

沼津は歴史的遺産(城跡や神社、古墳)が多い。又、江戸～明治・大正と中央の文化のつながりや交通の拠点、商圈人口も集中していた。今、それらがなくなって、勢いが無い。ラブライブは沼津が目された好機だと思う。

沼津を今以上に衰退させない為に、鉄道高架は急務。南北をつなぐ道路の整備も急務。そして企業を誘致。次の時代にはまた注目されます。沼津は風光明媚で自然の海岸線も素晴らしい。これからです。

橋下徹のような市長にならなければ夕張市になる(断言)

人が動く事は非常に良い事だと思う。ライターさんに直接的な販売等の対応だけでなく、サービス性のある提案をする事が出来ればと思っている。

百貨店があれば良いと思う。

文化・医・学・音・遊、すべてにおいてレベル低い状態。
若い世代が活躍できる、トライできる町にしてほしい。法や税の面で特区にしてほしい！

別紙あり

みかんゼリー高級 みかんジェラート、ミカンソフトクリーム、沼津お茶ソフトクリームなど 安いのと高いのを作って売れる物を残す。30年前に本当にあった沼津の古いチームのワールドヒーローでも作る(エグザイルのドラマ)

三島の方が町がにぎやか 沼津もっと考えてもらいたい
やはり鉄道高架でしょう。

ラブライブだけが盛り上がりつつあるのではないのでしょうか？

若者が増えるのは街の活性化にとり大事だとは思いますが、来沼数増のみでなく、若者の定着化が必要。ただし、就職先や大学等がなく、東京一極集中下ではなかなか難しいとは思いますが。事業計画から早30年余が経過した駅高架化はもう一度見直し、橋上駅化として、その予算を振り向ける。中心街は大型小売テナポが必要だと思う。イーラdeに誘致するなど、上記の予算も活用してはどうか。

依頼はしていても、ラブライブの方が手一杯のようで話が進みません

嫌いな人もいる

私達婦人服には、まったく売上につながらない

商店街のスタンプラリー設置店、新聞・放送、フィギュア設置店訪問等、情報は仕入れている。

店頭でグッズやぬいぐるみ、ポスターを置くだけでも、ファンの目を楽しませることができると思う。

沼津市は今リノベーションなど、街を変えることに頑張っています。確かに新規を受け入れる、もしくは沼津在住で何かをやりたい人を手助けするのも大事だと思います。ですが、今までそのような町で長らく営業し、市の下支えをしてきた店舗こそ市の財産ではないのでしょうか。

それらの店舗の中でやる気のある、けれど既存のやり方しかできない。そういう経営者を補助したり、アドバイスをすることも大事だと思います。

店頭営業5年以上や10年以上、20年以上と枠組みを設け、できる範囲内で補助金を出すなど、既存店舗の魅力や清潔感をアップすることが市にとっても重要ではないかと思えます。

営業年数が長い店ほど修繕に苦勞しており、細々とした修繕を行うものの、大規模改装をやるほどの資金は使いたくない。お金がないのではなく、やる必然性が見当たらないという理由で古めかしいまま。常連客にとってはそれが見慣れた店舗だと思いますが、新しい客を呼び起こそうとするのなら、それはどうかと思えます。

思っているが、一歩前へ進めない。という店舗がちらほらあります。狭い例ですが、既存店が元気になるような仕組みも大事だと思います。

ラブライブというコンテンツのおかげで、今まで交流のなかった各店舗、各商店街組合同士がそのアニメを応援しようということで、漠然とですが、応援という形でそれに向かって努力しています。

アニメの経済効果というのは限定的で、各店舗軒並みその恩恵に与えられると言われれば違います。ただ、それよりも各店舗同士の意識が変わったということの方が重要ではないでしょうか。ラブライブというコンテンツがなくなっても、自分たちで何かを行い魅力的な町にするという行動がしやすい土台が作られたと感じます。ラブライブという成功体験のおかげで、また何かをやろう、もしくは町自体でコンテンツを生み出していこうという所まで行けるかもしれません。

アニメに限らずエンターテインメントのコンテンツは、成功失敗あると思います。

それは単純にそれが面白いかどうか、楽しめるかどうか、が一番の要因になります。

沼津市は、過去様々な映画やドラマを誘致してきました。ただどれも今一つのデキだったり、話題にもならなかったり、してきました。

今回のラブライブはアニメ自体は潤沢にお金をかけ、しっかりしたクオリティで作っていたため成功しましたが、これからどうなるかわかりません。基本アニメのコンテンツは若者向けターゲットなので、廃り流行りが早いサイクルです。今後も沼津市として、ラブライブと共に成長したいと考えるのなら、今度は沼津市主体でファン向けに何かやるべきだと思います。それはその場限りのイベントなどではなく、**沼津市にまた来たい、と思わせるようなものを提供するのが重要**だと感じます。

ふるさと納税も缶バッジだけでなく、ラブライブのキャラをデザインした市内3箇所の水族館のフリーパスチケットとか、沼津に来るよう仕向ける努力が必要だと感じます。

そして、また来たいと思わせるようなまちづくり。

沼津には色々な見晴らしが良くきれいな風景が観られる場所が数多くあり、美味しいものもたくさんあります。そういう沼津市のコンテンツを駅前やネットなどでしっかり伝えていくことも重要だと思います。

それはラブライブのファンだけでなく、何も知らないで沼津に降り立った人たちにとっても有効でしょう。住んでいる人間にとって、誇れる町になることが最終目標なのかもしれません。